

# スガウェザリング学術講演会開催

編集部

第45回 平成19年10月19日(金)  
東京会場 (学士会館 202号室)  
160名



第46回 平成19年11月9日(金)  
大阪会場(国民會館大ホール12階)  
150名



春山志郎

東京工業大学 名誉教授  
(財)スガウェザリング技術振興財  
団評議員会議長

東京、大阪とも、(財)スガウェザリング  
技術振興財団評議員会議長春山志郎先生の  
開会の辞を賜わり、参加者は、熱心に聴講  
された。

堀 勝

名古屋大学大学院  
工学研究科 教授

リモートプラズマ試験機のラジカル絶対密度

リモートプラズマ試験における酸素ラジカルの定量的評価の必要性から新に開発した小型・簡便な原子状ラジカル計測装置と、その計測例を紹介。リモートプラズマ試験機における酸素ラジカルの絶対密度と振舞いがはじめて明らかにされた。

和田法明

バンドー化学㈱  
R&D センター  
副参事

ゴム材料の耐候性標準試料の確立と寿命予測

ゴム材料の耐候性の標準材料として SBR を中心に「①暴露(照射)時間に直接的に比例して特性が変化する②劣化メカニズムが屋外暴露と人工光源暴露で類似している③入手、加工が容易」を目的に実験を行い標準材料を作成した。その結果は JIS K 6266 に採用、ISO 規格にも採用。

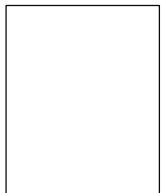


須賀茂雄

スガ試験機(株)  
代表取締役専務

耐候試験機の最新動向 <ISO 及び国内の新しい試験法>

1. ISO/TC61(プラスチック)インド・ゴア会議における①オープンフレームカーボンアーク②キセノンアーク試験③放射照度計の校正等。
2. 超促進を目的とした新しい試験法 ①メタリング ②過酸化水素水 ③プラズマ各試験法の概要。

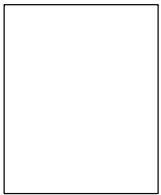


部 洋司

(独)産業技術総合研究所  
計量標準総合センター

標準白色板のトレーサビリティ体系の確立

積分球を用いた新しい絶対反射測定法(変形 Sharp-Little 法)を開発し、諸外国の標準機関と同一技術水準の、高精度な分光反射率標準を具現し、国家標準トレーサブルな分光反射率の標準供給体制を確立した。



中谷久之

北見工業大学工学部  
化学システム工学科  
准教授

ポリプロピレン系高分子の劣化挙動解析

多成分系 PP の代表、ImPP の熱酸化劣化挙動の解明を目的に溶解分別装置を用いて実験を行った。その結果、ImPP の劣化では、劣化進行時に生じる不均一な外観の局所的な変化をつきとめ、従来の PP には見られない特異的な挙動を呈する事が予想。



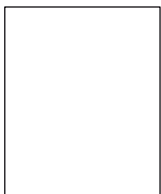
佐藤幸弘

関西ねじ協同組合  
研究開発委員会

ねじの新腐食試験方法の開発

ねじの腐食が問題化していることに対応し、サイクル式の新腐食試験方法を開発した。

基本的には、実用との相関が良い米国 SAE J2334 により、塩濃度の低い溶液の噴霧と乾燥を繰り返す試験とした。



仙波良二

トヨタ紡織(株)実験部  
部長

自動車内装シートの温湿度耐久性

自動車シートの構成部品(有機系・温度依存性大)は、近年益々複雑化していることに鑑み、温度・湿度環境化での特性変化・劣化を考慮し、その対応実験評価を行った。特に、シートパット(ウレタンホム)について解説。

(敬称略)